

# 第1回調査研究報告

服薬フォローアップ研究会





# 調査概要

## 目的

服薬フォローアップ研究会参加者の意識・課題やニーズを把握し、研究会の運営・活動に活かすため。課題解決策を検討するため。

## 対象

服薬フォローアップ研究会の会員

## 期間

2022年6月23日～8月31日

## 方法

Webフォームを用いた無記名自記式質問紙調査（選択及び自由記述形式）  
慶應義塾大学薬学部人を対象とする研究倫理審査委員会の承認（承220601-1）を得て実施

## 問い合わせ先

服薬フォローアップ研究会事務局  
株式会社グッドサイクルシステム 担当：柿原 [ami-kakihara@goodcycle.net](mailto:ami-kakihara@goodcycle.net)



# 回答者概要

回答数：69名

回答者が勤務している薬局（所在地）：29都道府県

## 回答者が勤務している薬局（処方箋受付枚数）

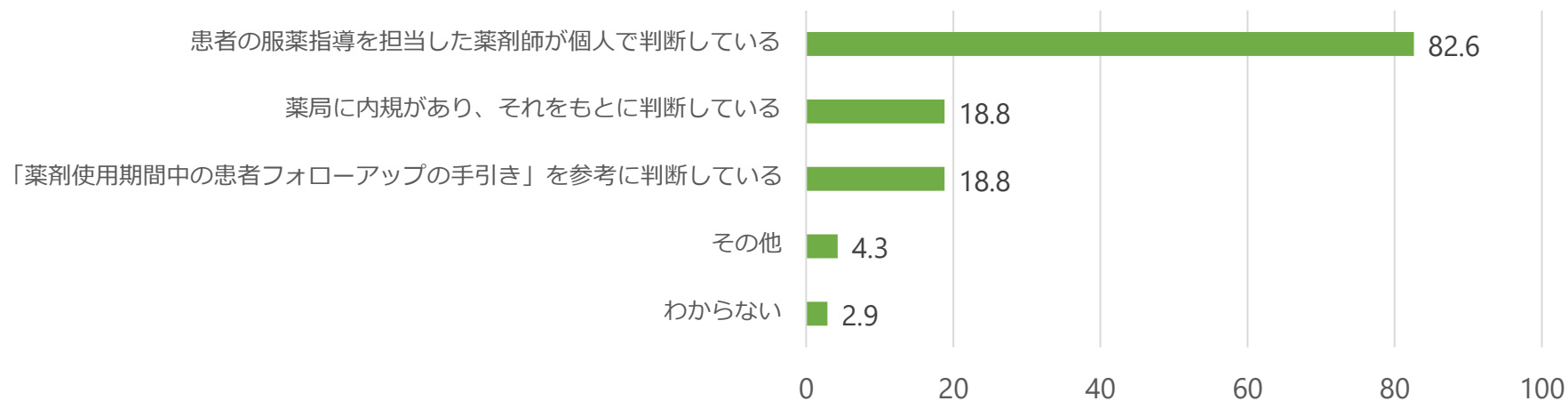
処方箋受付枚数/1カ月	件	%
500枚未満	12	17.4
500～999枚	15	21.7
1000～1999枚	25	36.2
2000～2999枚	14	20.3
3000～3999枚	1	1.4
4000枚以上	2	2.9

## 回答者が勤務している薬局（規模）

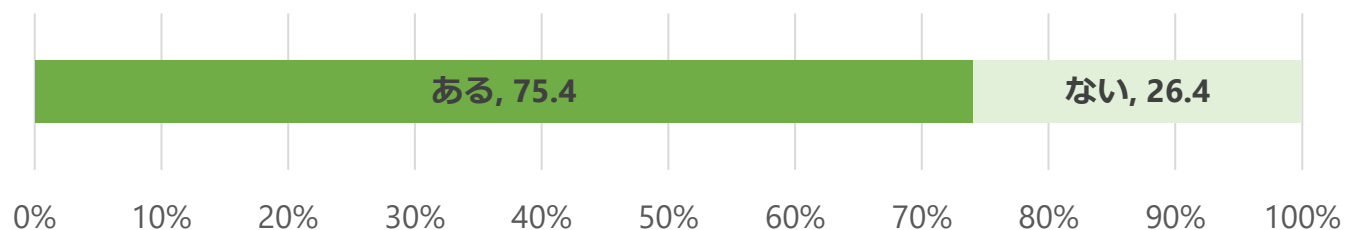
勤務薬局の総店舗数	件	%
1店舗	11	15.9
2店舗以上10店舗未満	23	33.3
10店舗以上30店舗未満	8	11.6
30店舗以上100店舗未満	14	20.3
100店舗以上	13	18.8

# A. 患者フォローアップの手段と指針について

## A-1. 患者フォローアップの実施をどのように決めている？ (複数回答, n=69)



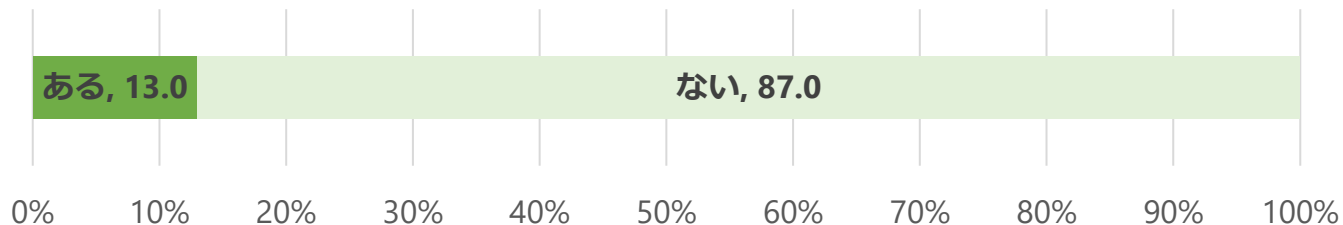
## A-2. 患者フォローアップの実施判断を薬局内で相談したことがある？ (n=69)



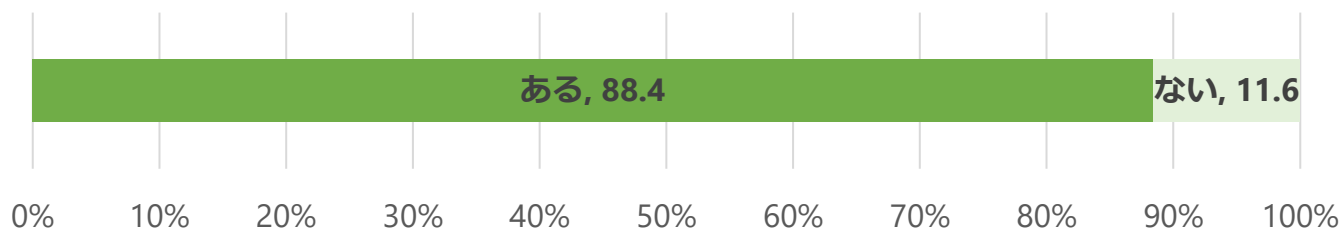


## A. 患者フォローアップの手段と指針について

### A-3. 要指導・一般用医薬品のフォローアップ経験は？ (n=69)



### A-4. 直近1年以内にフォローアップを実施した経験 (n=69)



### A-5. どの手段で患者フォローアップを行っていますか？ (複数回答, n=61)

**電話 96.7%、アプリ 19.7%、患者宅へ直接訪問 18.0%**      ほか

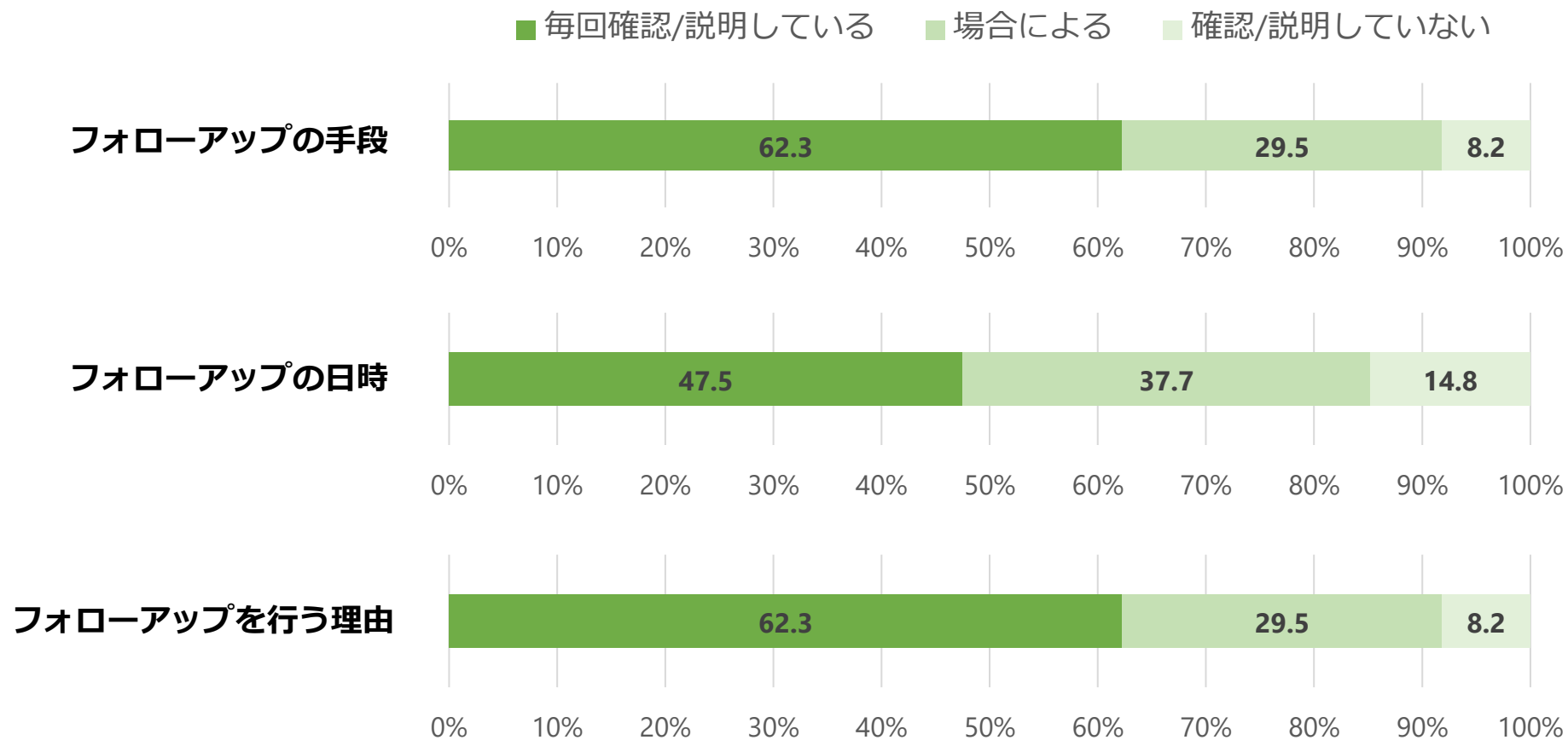
その他の回答：他医療機関の処方箋持参や相談目的等、他の目的での来局時に対面で実施する（4件）



# A. 患者フォローアップの手段と指針について

## A-6. 患者フォローアップの実施する際：事前の患者同意について

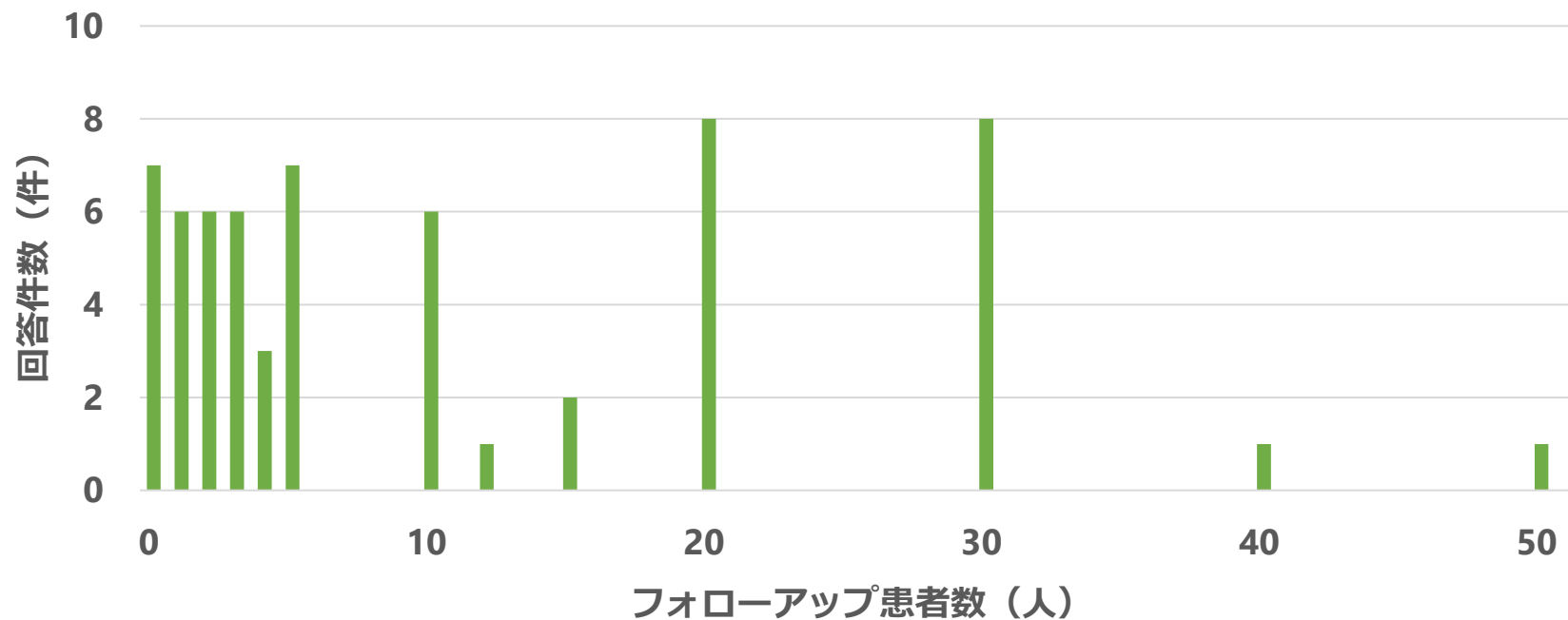
(直近1年以内のフォローアップ経験者 61名)





## B. 患者フォローアップと現状について

### B-1. 直近3ヶ月のフォローアップ実施患者数（電話）



60人, 150人, 180人, 200人との回答も各1件あり

## B. 患者フォローアップと現状について



以下に示す患者(①-⑪)に対するフォローアップについて、フォローアップの「必要性の高さ」とフォローアップの「実施度」についてお答えください。

B-2-1:フォローアップの必要性について：

「必要性はない」を0 「必要性が高い」を4として5段階(0, 1, 2, 3, 4)でお答えください。

B-2-2:フォローアップの実施度について：

「実施していない」を0 「十分実施している」を4として5段階(0, 1, 2, 3, 4)でお答えください。

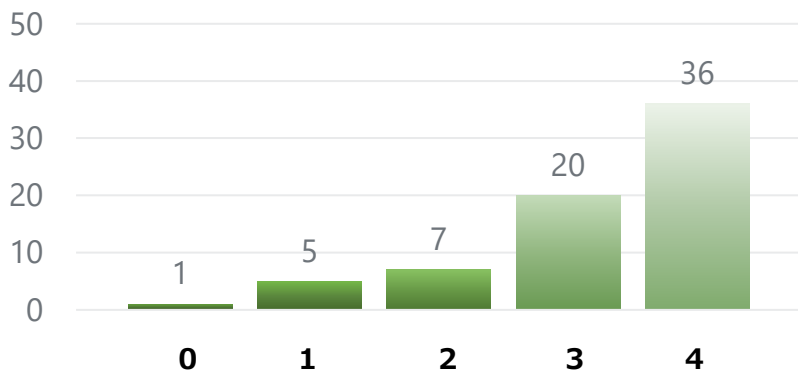
- ① 新規処方や処方変更があった患者(用法用量の変更など)
- ② 長期処方された患者
- ③ 投与期間が変則的な患者(休薬期間がある、週2回投与など)
- ④ 服用・使用方法が特殊な薬剤が処方された患者(吸入剤, 注射剤など)
- ⑤ 新薬(市販直後調査対象の薬)が処方された患者
- ⑥ 疑義照会をして処方変更に至った患者
- ⑦ 疑義照会をしたが処方変更に至らなかった患者
- ⑧ 副作用リスクが懸念される患者(ハイリスク薬服用者など)
- ⑨ アドヒアランスが不良な患者
- ⑩ 薬の服用・使用に不安を感じている患者
- ⑪ ハイリスク群(妊娠中・高齢・腎機能障害など)の患者



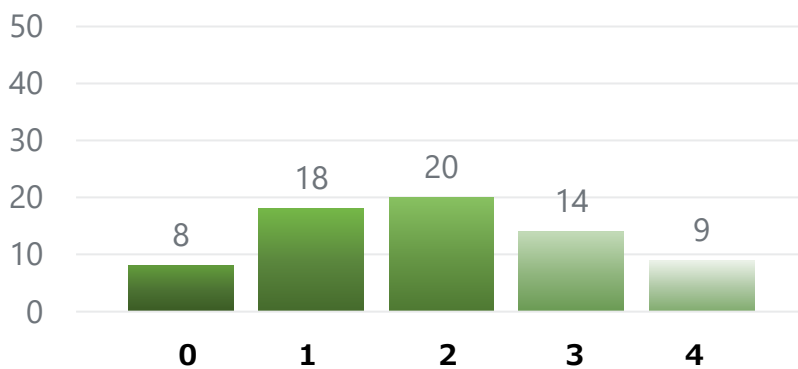
## B. 患者フォローアップと現状について

①新規処方者処方変更があった患者 (n=69)

### フォローアップの必要性

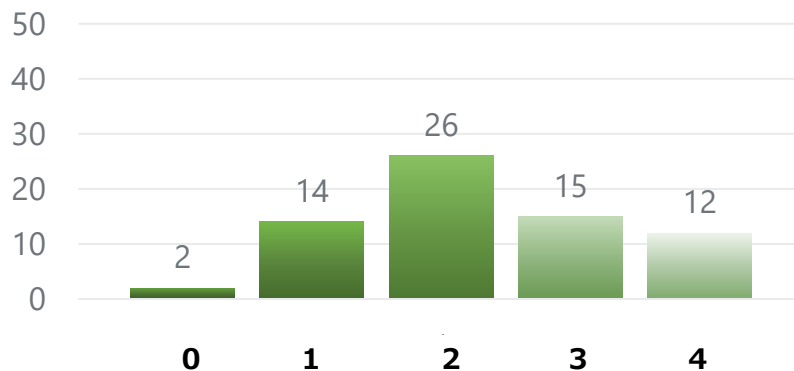


### フォローアップの実施度

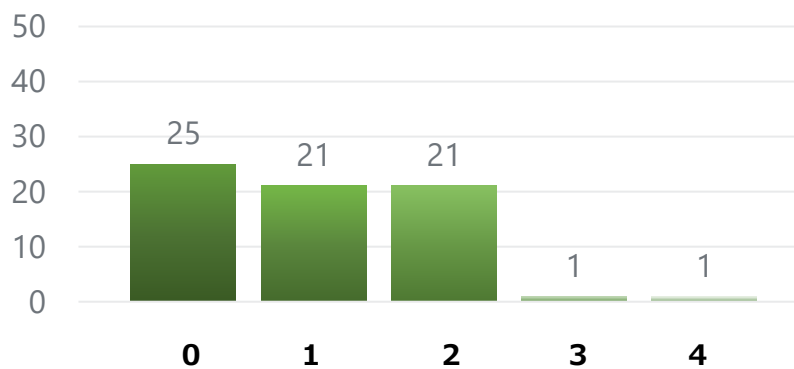


②長期処方された患者 (n=69)

### フォローアップの必要性



### フォローアップの実施度



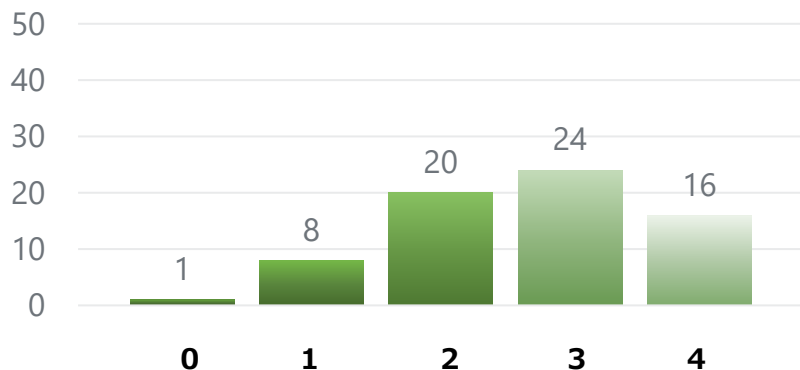


## B. 患者フォローアップと現状について

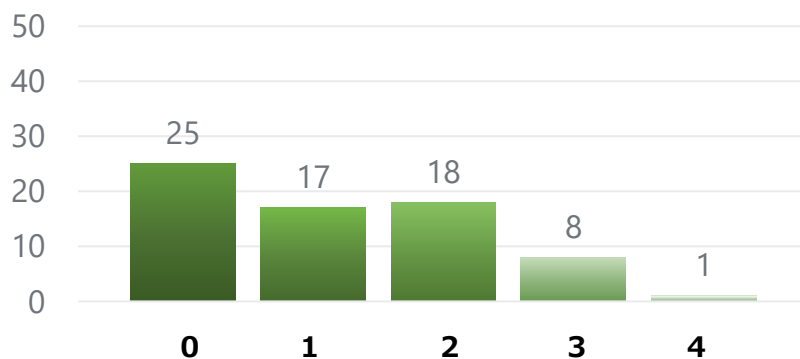
### ③ 投与期間が変則的な患者

(休薬期間がある、週2回投与など) (n=69)

#### フォローアップの必要性



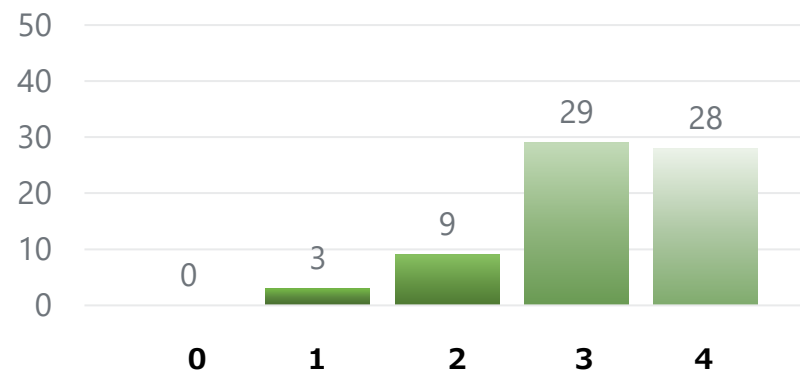
#### フォローアップの実施度



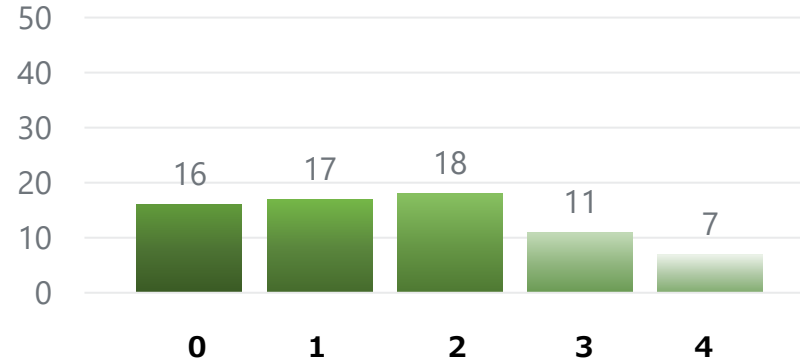
### ④ 服用・使用方法が特殊な薬剤が処方された患者

(吸入剤, 注射剤など) (n=69)

#### フォローアップの必要性



#### フォローアップの実施度

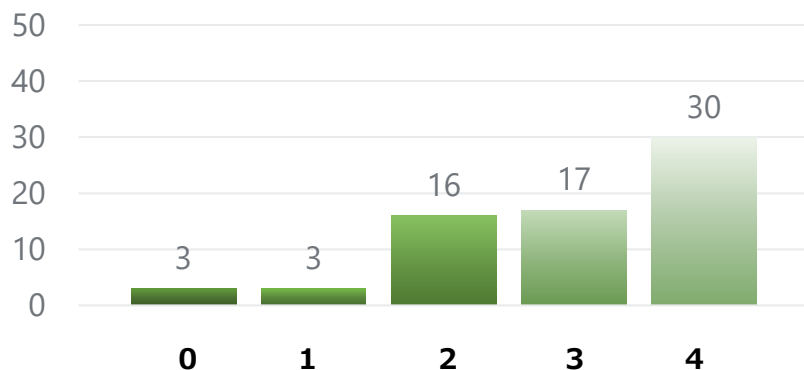


## B. 患者フォローアップと現状について

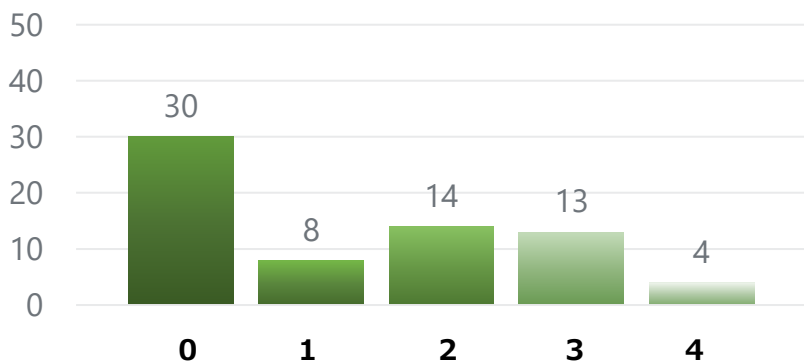


### ⑤新薬（市販直後調査対象の薬）が処方された患者 (n=69)

#### フォローアップの必要性

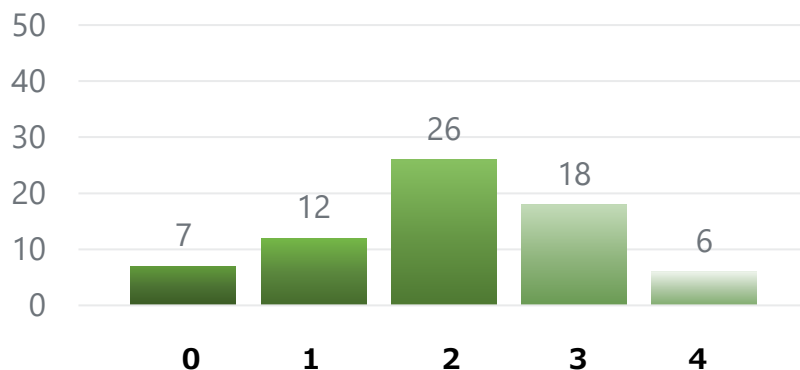


#### フォローアップの実施度

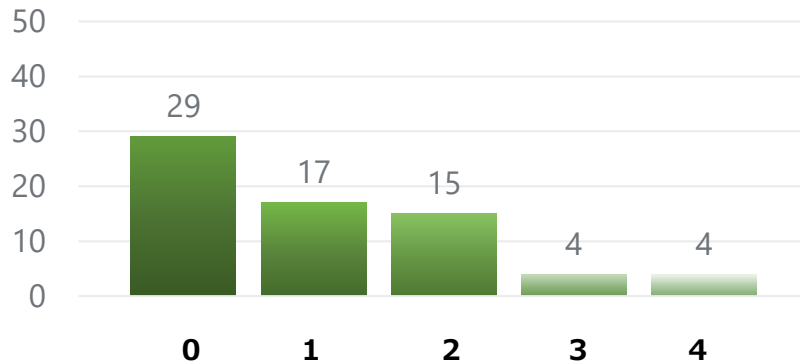


### ⑥疑義照会をして処方変更に至った患者 (n=69)

#### フォローアップの必要性



#### フォローアップの実施度



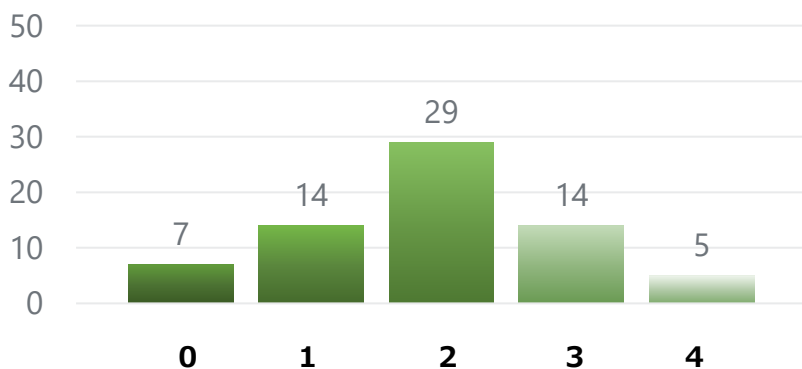


## B. 患者フォローアップと現状について

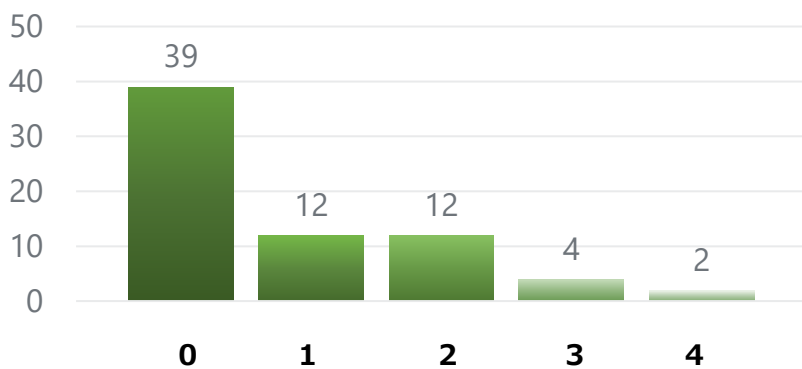
### ⑦ 疑義照会をしたが処方変更に至らなかった患者

(n=69)

#### フォローアップの必要性



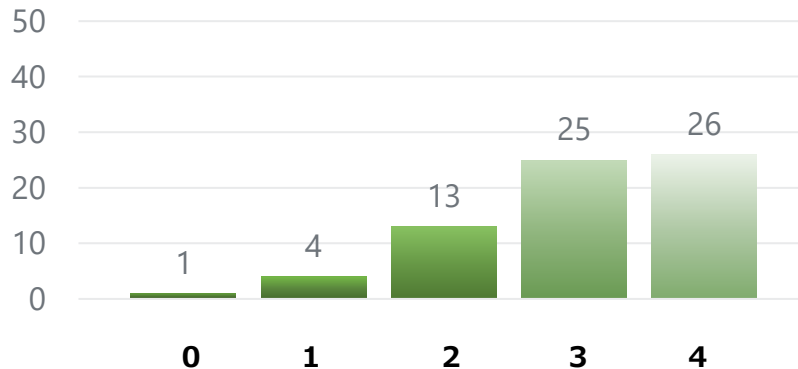
#### フォローアップの実施度



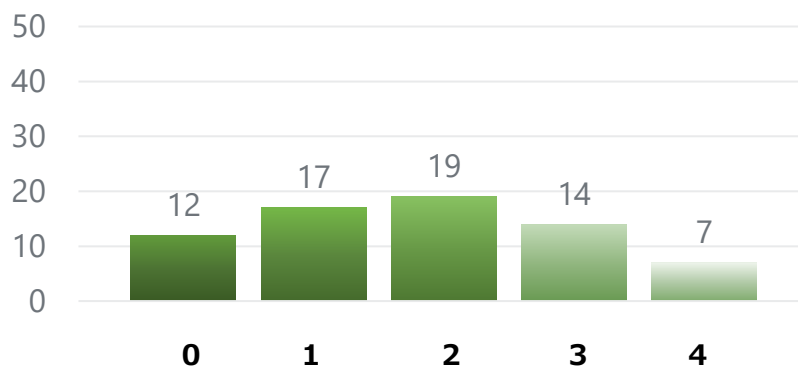
### ⑧ 副作用リスクが懸念される患者

(ハイリスク薬服用者など) (n=69)

#### フォローアップの必要性



#### フォローアップの実施度

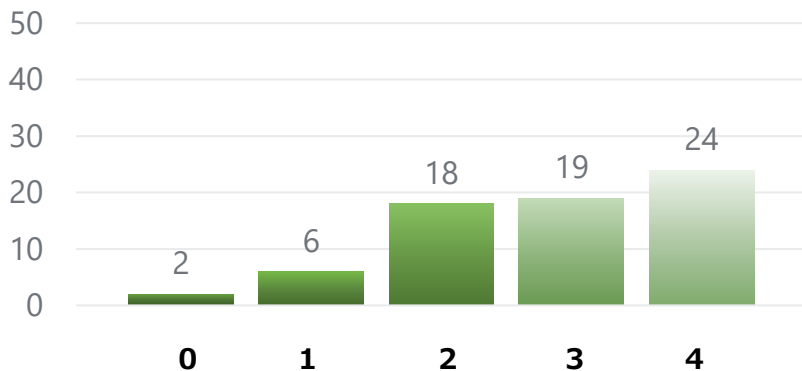


## B. 患者フォローアップと現状について

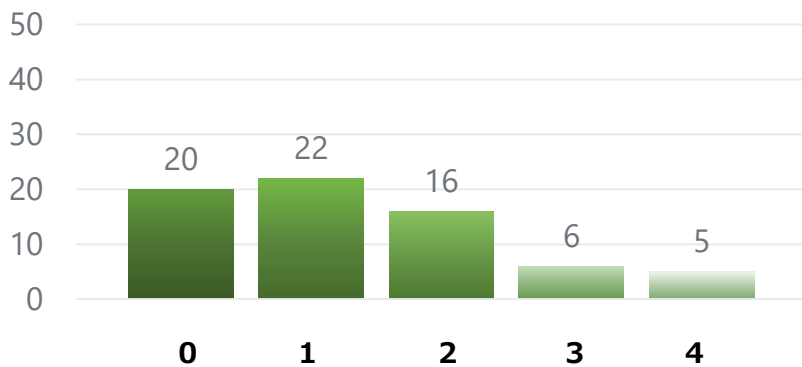


### ⑨ アドヒアランスが不良な患者 (n=69)

#### フォローアップの必要性

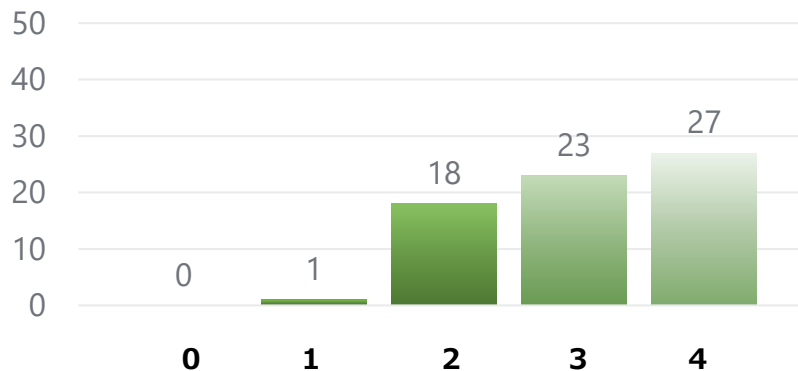


#### フォローアップの実施度

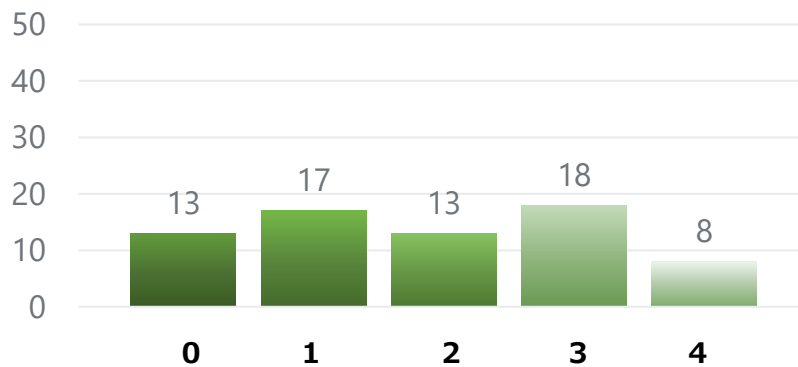


### ⑩ 薬の服用・使用に不安を感じている患者 (n=69)

#### フォローアップの必要性



#### フォローアップの実施度

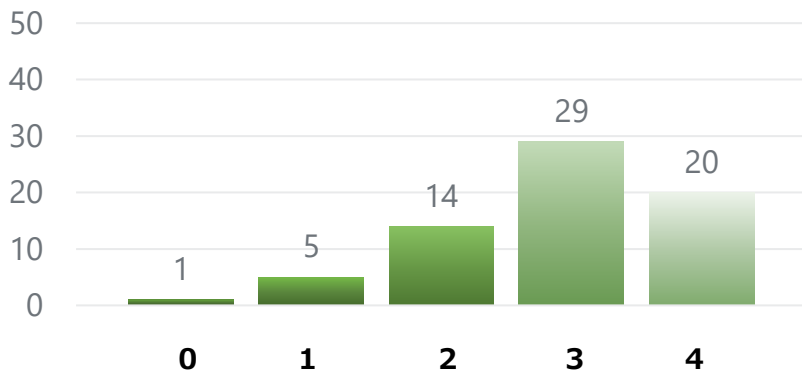




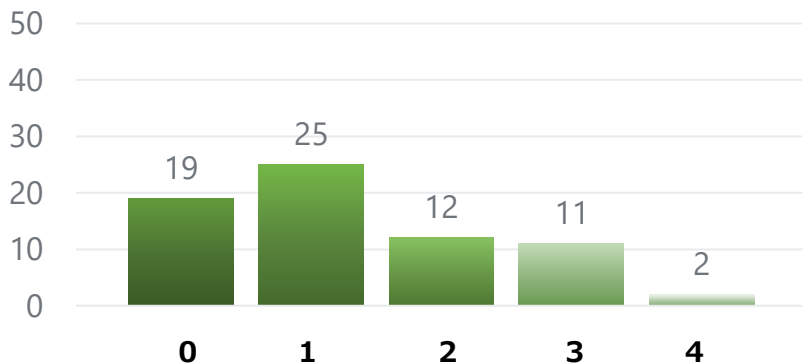
## B. 患者フォローアップと現状について

### ⑪ハイリスク群（妊娠中・高齢・腎機能障害など）の患者 (n=69)

#### フォローアップの必要性



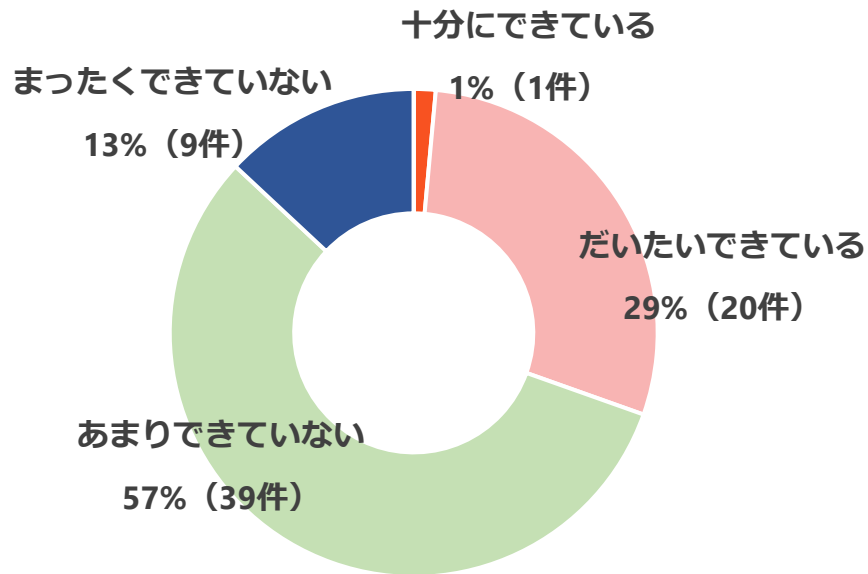
#### フォローアップの実施度



限られた時間や人員の制限のあるなかで、  
個々の患者に対して、必要性を判断しながら  
フォローアップが実施されている。

## B. 患者フォローアップと現状について

### B-4. 回答者が勤務している薬局での フォローアップの実施度（自己評価）



(直近1年以内のフォローアップ経験者 69名)

### B-5. フォローアップに至らない理由 (自由記述)

#### 実施度によらず挙げられた理由

- 薬局側：多忙、フォローアップの時間が取れない、人員不足
- 患者側：患者から断られる、電話に出てくれない（つながらない）

#### その他の理由（あまり/まったくできていないの回答者）

- 今までフォローアップを行っていなかったため、きっかけがない
- フォローアップの必要の伝え方がうまくいかない
- 個人の裁量でおこなうため、進まない
- フォローアップに加えて、医師へのフィードバック（服薬情報提供料書作成も大変）